

宮城県沖に設置したブイ式海底津波計の欠測について

宮城県沖に設置した海底津波計（別紙 1、2）からの観測データが、5 月 5 日 16 時 15 分から入手できなくなりました。その原因については、データを中継する海上ブイが強い海流によって東へ約 5km 移動したために、音響通信（別紙 2 ②）が不良となったためと推定されます。

今回の欠測により、宮城県沖から茨城県沖にかけての沖合海域で津波が発生した場合に、その津波を沖合で検知するまでの時間が最大で 10 分程度遅くなる可能性があります。なお、他の 2 基は正常に機能しており、引き続き沖合における津波の早期検知は可能であるとともに、地震直後の津波警報（第 1 報）は、地震計のデータをもとに津波の規模等を推定して発表するため、この欠測による影響はありません。

今回の欠測に対し、予備のブイの設置等によって、早期の観測再開を図る予定です。

本件に関する問い合わせ先：

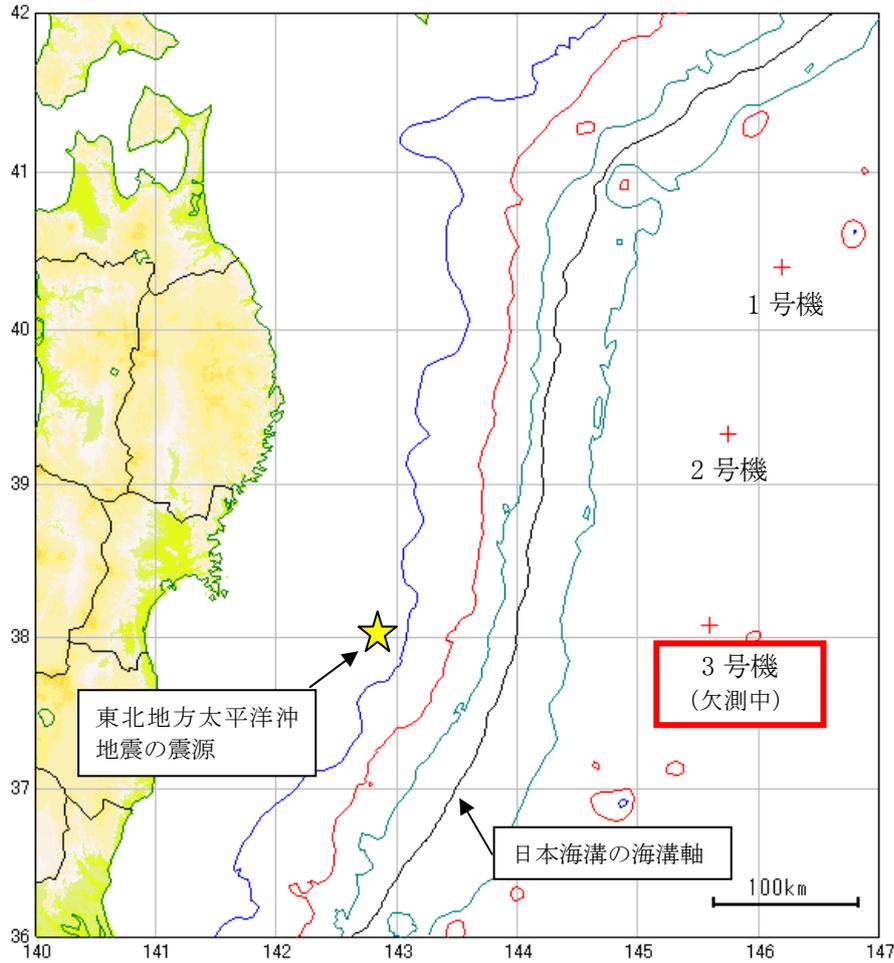
（ブイ式海底津波計について）

地球環境・海洋部海洋気象課 電話 03-3212-8341（内線 5146）

（津波警報について）

地震火山部地震津波監視課 電話 03-3212-8341（内線 4839）

ブイ式海底津波計の設置場所について



[設置位置の緯度経度]

1号機：北緯 40 度 24 分

東経 146 度 12 分

2号機：北緯 39 度 18 分

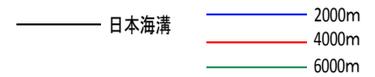
東経 145 度 45 分

3号機：北緯 38 度 04 分

東経 145 度 35 分

(東北地方の太平洋沖約 320~400km)

[設置水深] 約 5,300m

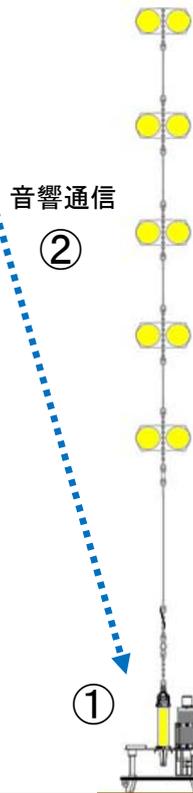
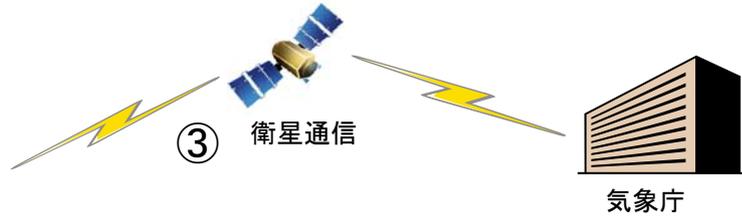


ブイ式海底津波計の概要



海上ブイ

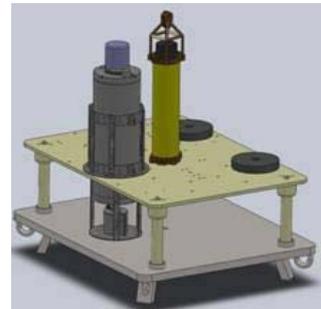
- 大きさ : 2.1m (φ) × 3.4m (H)
- 重量 : 1,630kg
- 構成機器
ブイ本体、衛星通信機、GPS受信機、音響モデム、バッテリー、衝突防止灯、レーダーリフレクター



- ① 津波による水圧の変化を海底津波計が検知
- ② 観測された津波データ（水圧の変化）を音響通信により海上ブイに送信
- ③ 衛星通信により津波データを気象庁に送信

係留索

アンカー
1,633kg × 2 式



海底津波計

- 大きさ : 1.2m (W) × 1.0m (D) × 1.26m (H)
- 重量 : 550kg
- 構成機器
筐体（水圧計、傾斜計、データロガー、バッテリー）
切り離し用トランスポンダ